

令和 6 年度事業計画書
令和 6 年 4 月 1 日から同 7 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 顔と心と体研究会

1. 事業活動の目的

- (1) メイクボランティア活動により組織基盤・財政基盤を維持する。
- (2) 調査研究活動により化粧の効果を科学的に実証する。
- (3) 化粧の効果に関して普及啓発活動を行い、化粧の社会的地位を向上させる。
- (4) 資格認証事業により外観に悩みを抱える方々の社会参加・社会復帰を支援し、併せて資格の社会的な認知・信頼性を確立する。

2. 事業活動を取り巻く情勢と活動の概要

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、当法人の活動の柱である高齢者施設へのメイクボランティア訪問を令和 2 年 3 月から見合わせていたが、前年度から、数は少ないながら施設訪問を再開し、当年度には 9 件の訪問を行うことができた。コロナ禍以前の年間 100 回以上のペースに回復するのは、まだかなり難しい状況ではあるが、コロナ禍以前に実施した施設の再開、問合せも増えているので、来年度も、徐々にではあっても、活動を拡大させていく。

ボランティア講習会については、昨年 9 月に 4 年ぶりに開催し、一部修了者のボランティア訪問を実現することができた。今後もメイクボランティア活動の状況を見ながら、講習会を開催していく。

児童福祉施設の卒業者向けの講習など、比較的コロナの影響を受けにくい対象に向けたメイク講習について、ファンドも含めて、引続き開催を検討していく。

資格認証制度については、感染拡大防止のため実技試験の実施を見合わせざるを得ない状況が続いていたが、3 級試験は、前々年度 5 月より再開し、同 11 月と前年度 5 月に実施した。しかし、前年 11 月は応募者がなく中止せざるを得なかった。原則として、毎年 5 月と 11 月に実施するものとするが、現状では応募者の確保が難しいと考えられるので、有限会社とも協力のうえ、新たな応募者の開拓を図るものとする。3 級試験の応募者の拡大が 4 級の WEB 受験者の増加につながり、2 級試験の実施も見えてくるものと考えている。

令和 2 年 10 月より開始した、会員基盤を維持するための、会場・オンライン併用による小規模セミナーは引続き年 3~4 回のペースで開催していく。

3. 事業計画の内容

- (1) メイクボランティア訪問・メイクボランティア講習会・メイク講座
 - (ア) メイクボランティア訪問
徐々にではあるが、施設訪問再開・拡大を進めていく。
 - (イ) メイクボランティア講習会

ボランティア活動を見合わせていた間に、ボランティアの数もかなり少なくなっているため、施設訪問の状況を見ながら、講習会を開催する。また、ボランティアを「速成」するために、講習会の形を変える必要もあると考えている。

(ウ) メイク講座

- 児童福祉施設の卒業者向けのメイク講習など、これまで施設側の予算不足で実施できなかった講習会について、ファンドも含めて、開催を検討する。
- 更正保護法人「両全会」でのメイク講座（年4回）を引続き実施する。

(2) 調査研究活動

(ア) 化粧によるストレス軽減効果に関する長期的観察

身体障がい・知的障がい等をもつ母親への化粧の効果についての調査やデータ集積については、中断している。機会を見て再開できるかどうか、検討したい。

(イ) 「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方のQOL向上の試み」

(文化学園大学大学院 国際文化研究科 応用健康心理学研究室 産業・精神保健学 佐藤浩信教授との共同研究)

これまでメイクボランティアを通じて収集した高齢者の表情データの取りまとめについて、佐藤教授とデータの探索を進めている。高齢者に対するメイクの効果について、既に発表した論文に追加する報告書をまとめたい。

(3) 普及啓発活動・情報誌等発行事業

(ア) 「顔と心と体」セミナーの実施

今年度も引続き、会場とオンラインを併用した小規模セミナー（「顔と心と体セミナー」）を定期的実施する（3～4ヶ月に1回程度）。

(イ) 会報誌の発行・ホームページの更新

当法人の活動状況について周知するため、会報誌を年4回発行し、会員及び医療機関・高齢者施設・公共機関等に配布する。

ホームページの更新を最低月1回、月間アクセス1,000の回復を目指す。

(4) メンタルメイクセラピスト[®]資格認証事業

(ア) 試験の実施

3級試験の受験者のプールをつくるために、有限会社と協力して、対策を打ち出していく。来年度中に、1回の3級試験を実施する。4級については、引き続きWEB受験を行う。当年度に引続き、兵庫大学社会福祉学科での4級試験を実施する。

(イ) 資格更新

第1回3級試験による資格者の有効期限が2024年11月なので、その旨を該

当者に通知した。既に更新条件をクリアしている者がいるので、条件・期限について見直しは行わない。半数余りが資格を失う可能性がある。

(5) その他

(ア) 理事会

以下の日程で開催予定であるが、引き続き Zoom システムを利用したのオンラインでの開催が主となる予定。

5月23日(木) 事業報告・決算承認、社員総会招集

6月25日(火) 代表理事の選定

11月 活動状況報告

また、必要に応じ、適宜理事会を開催する予定。

(イ) 社員総会

6月22日(土) 事業報告・決算承認・理事監事改選

(ウ) 活動財源

会費、寄附金、セミナー参加費、検定事業収益(受験料・テキスト販売代金)等を充当する予定。

以 上

令和6年度 収支予算書
2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 2024(R6)年度予 算合計 | 当年度予算額 | 増 減 |
|---------------------------|--------------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 受 取 会 費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| 正 会 員 受 取 会 費 | 950,000 | 950,000 | 0 |
| 賛 助 会 員 受 取 会 費 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 事 業 収 益 | 500,000 | 1,530,000 | -1,030,000 |
| 公 開 講 座 事 業 収 益 | 250,000 | 300,000 | -50,000 |
| メ イ ク ボ ラ ン テ ィ ア 事 業 収 益 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| メ イ ク 講 座 事 業 収 益 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 検 定 事 業 収 益 | 100,000 | 1,080,000 | -980,000 |
| 受 取 補 助 金 | 0 | 0 | 0 |
| 受 取 民 間 補 助 金 | 0 | 0 | 0 |
| 受 取 寄 付 金 | 12,000,000 | 12,200,000 | -200,000 |
| 受 取 寄 付 金 益 | 12,000,000 | 12,200,000 | -200,000 |
| 募 金 収 益 | 0 | 0 | 0 |
| 雑 収 益 | 0 | 0 | 0 |
| 受 取 利 息 益 | 0 | 0 | 0 |
| 受 取 収 益 | 0 | 0 | 0 |
| 経常収益計 | 13,500,000 | 14,730,000 | -1,230,000 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事 業 手 当 費 | 8,960,000 | 10,296,000 | -1,336,000 |
| 給 料 手 当 費 | 5,500,000 | 6,580,000 | -1,080,000 |
| 福 利 厚 生 費 | 430,000 | 500,000 | -70,000 |
| 会 議 費 | 35,000 | 90,000 | -55,000 |
| 旅 費 交 通 費 | 750,000 | 250,000 | 500,000 |
| 通 信 運 搬 費 | 350,000 | 300,000 | 50,000 |
| 減 価 償 却 費 | 70,000 | 70,000 | 0 |
| 消 耗 品 費 | 350,000 | 200,000 | 150,000 |
| 印 刷 製 本 費 | 300,000 | 400,000 | -100,000 |
| 印 借 料 費 | 300,000 | 200,000 | 100,000 |
| 賃 諸 謝 外 託 費 | 400,000 | 1,060,000 | -660,000 |
| 支 払 手 数 料 費 | 450,000 | 526,000 | -76,000 |
| 新 聞 函 書 費 | 25,000 | 10,000 | 15,000 |
| 雑 費 | 0 | 10,000 | -10,000 |
| 管 理 費 | 0 | 0 | 0 |
| 給 料 手 当 費 | 4,118,000 | 4,325,000 | -207,000 |
| 福 利 厚 生 費 | 1,300,000 | 1,375,000 | -75,000 |
| 会 議 費 | 105,000 | 120,000 | -15,000 |
| 旅 費 交 通 費 | 25,000 | 50,000 | -25,000 |
| 通 信 運 搬 費 | 175,000 | 200,000 | -25,000 |
| 減 価 償 却 費 | 100,000 | 150,000 | -50,000 |
| 消 耗 品 費 | 85,000 | 70,000 | 15,000 |
| 印 刷 製 本 費 | 35,000 | 50,000 | -15,000 |
| 光 熱 水 本 料 費 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 賃 諸 謝 外 託 費 | 130,000 | 150,000 | -20,000 |
| 支 払 手 数 料 費 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0 |
| 租 税 公 課 費 | 0 | 0 | 0 |
| 委 託 費 | 3,000 | 5,000 | -2,000 |
| 支 払 手 数 料 費 | 850,000 | 850,000 | 0 |
| 雑 費 | 10,000 | 5,000 | 5,000 |
| 経常費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 13,078,000 | 14,621,000 | -1,543,000 |
| 評価損益等計 | 422,000 | 109,000 | 313,000 |
| 当期経常増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 経常外増減の部 | 422,000 | 109,000 | 313,000 |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産期首残高 | 422,000 | 109,000 | 313,000 |
| 一般正味財産期末残高 | 8,247,329 | 10,257,758 | -2,010,429 |
| 一般正味財産期末残高 | 8,669,329 | 10,366,758 | -1,697,429 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| | 8,669,329 | 10,366,758 | -1,697,429 |